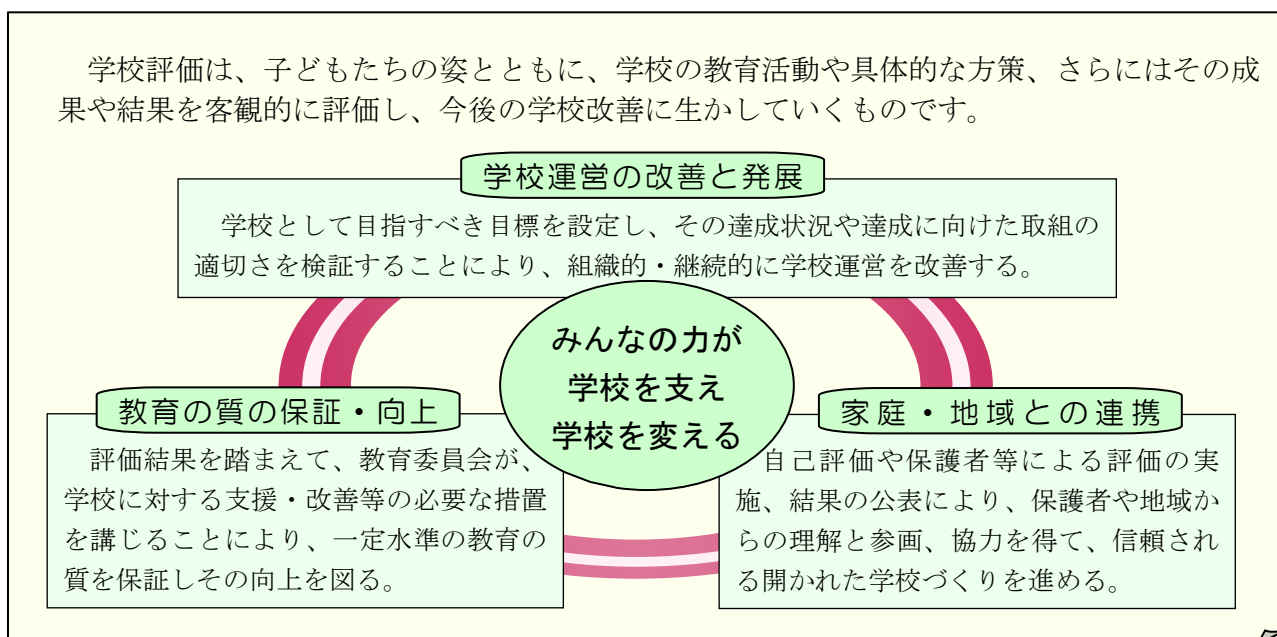


## 学校関係者評価についての基礎知識 ①

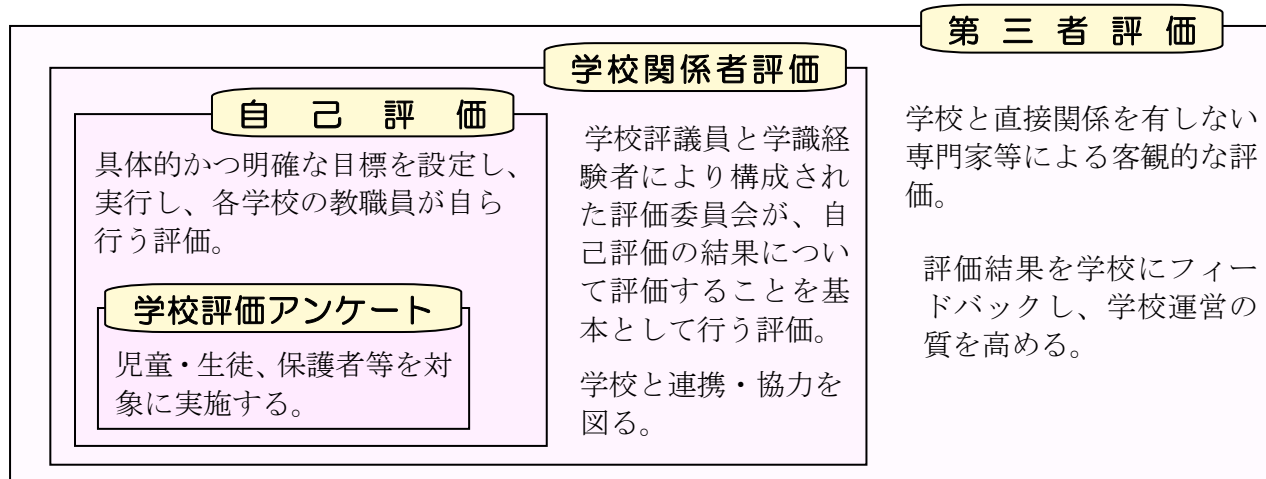
### 1 学校評価の目的

学校が、学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めること。



### 2 学校評価の形態

(1) 現在の概念 法令等を踏まえて、学校評価の実施手法を以下の4つの形態で整理できる。



(2) 従来の概念 かつては、以下のように捉えていた。上の(1)と混同しないように。

#### ①内部評価

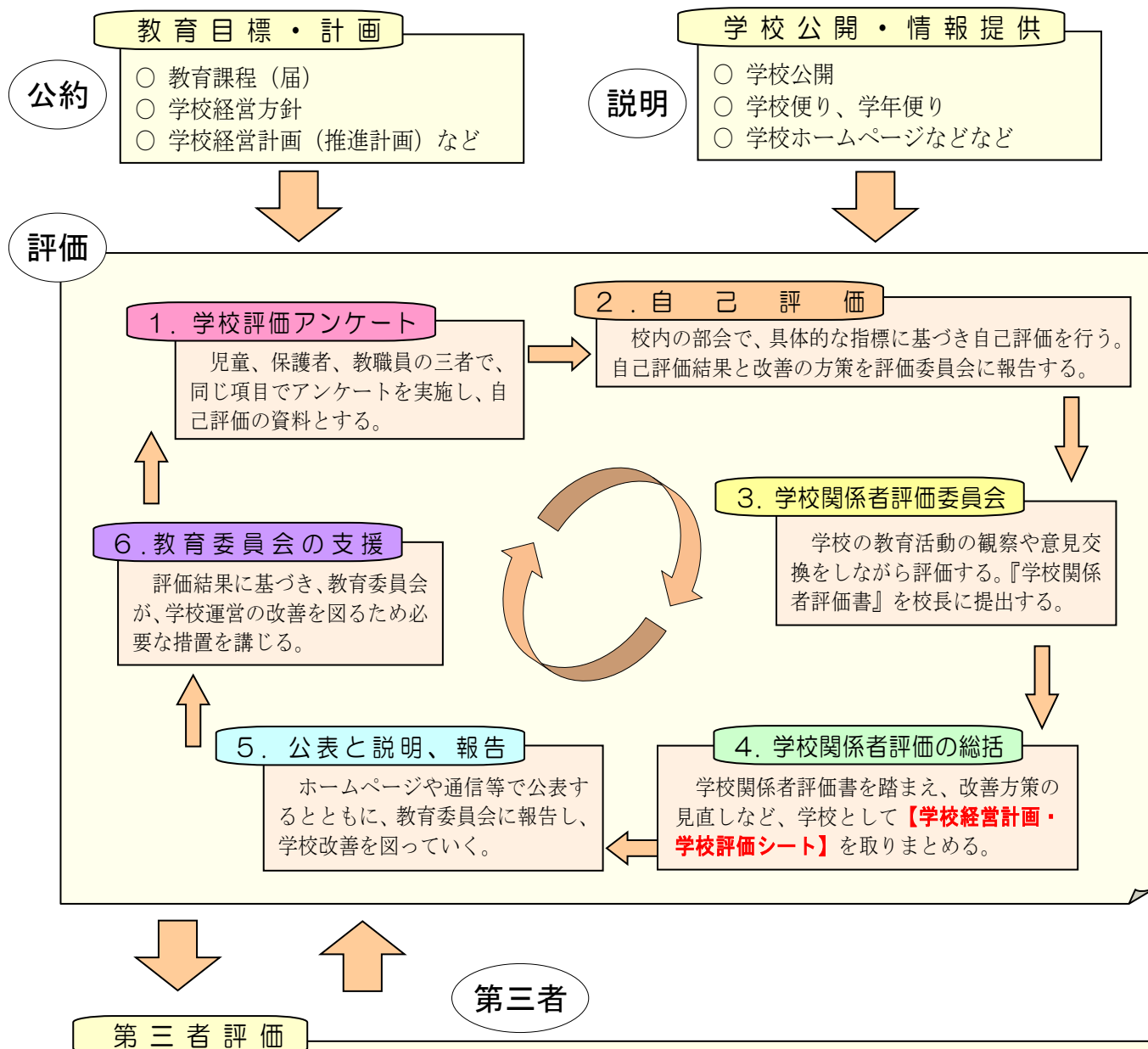
いわゆる「年度末反省」など、学校の分掌や行事等の取組について、全教職員で網羅的に評価して、次年度に生かそうとするもの。公表していない。

#### ②外部評価

従来から行われているいわゆる「保護者アンケート」など、教職員以外からの評価を次年度に生かそうとするもの。この結果を公表していた。

## 学校関係者評価についての基礎知識 ②

### 3 学校関係者評価の実施手順



＜内容＞ 第三者評価委員が、担当する各学校を訪問し学校の状況を把握するとともに、以下の資料を基に評価を行い、評価結果を第三者評価報告書としてまとめ教育委員会に提出する。

- ① 平成28年度自己評価結果 ② 平成28年度学校関係者評価結果  
③ 平成29年度学校経営方針 ④ 学校要覧 ⑤ 平成29年度自己評価表 その他

＜実施方法＞

- ① 実施体制 第三者評価チームを学識経験者・企業経営者・市民代表の3名で構成する。重点評価項目は「教職員の指導力」とする。
- ② 実施計画 各学期に1回 委員は、学校を訪問し、学校の状況を把握する。  
2月中旬 委員は、第三者評価報告書としてまとめ教育委員会に提出する。

## 学校関係者評価についての基礎知識 ③

### 4 学校関係者評価の実施計画の作成 (例)

| 月                       | ◇保護者 □児童                                                               | ◇学校 ◎公開等                                                                                  | 学校関係者評価委員会                                                      | 教育委員会                       |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 4月<br>5月<br>6月<br>7月    | ◇授業参観アンケート<br>□授業評価・生活調査                                               | ◇学校評価部会を設置<br>◆評価計画作成・提出<br>◎学校公開(第1回)<br>◎重点目標等の周知<br>◎授業改善プラン公表                         | ○学校関係者評価委員会を組織<br>○第1回評価委員会<br>・評価目的や方法説明<br>・学校の教育状況説明         | △評価計画の受理、助言<br><br>△評価委員の委嘱 |
| 9月<br>10月<br>11月<br>12月 | ◇学校行事アンケート<br>◇授業参観アンケート<br>◇学校行事アンケート<br><br>◆学校評価アンケート<br>□授業評価・生活調査 | ◎運動会<br>◎学校公開(第2回)<br>◎学習発表会<br><br>◆学校評価アンケート実施、集計                                       | ○第2回評価委員会<br>・学校の教育活動の観察や意見交換                                   | △指導主事等による学校視察の実施及び指導助言(通年)  |
| 1月<br>2月<br>3月          | ◇授業参観アンケート<br>□授業評価・生活調査                                               | ◆自己評価を実施<br>・分析と改善策立案<br>◎学校公開(第3回)<br>◎学校評価アンケート結果の公表<br>◆学校評価の総括<br>◆『学校関係者評価報告書』の提出・公表 | ○第3回評価委員会<br>・学校関係者評価<br><br>◆第4回評価委員会<br>・『学校関係者評価書』を作成し、校長に提出 | △学校運営改善の支援                  |

### 5 自己評価に向けて (例)

Ⅲ 児童に「確かな学力」を身に付けていますか

|                                                         | 満足度% | 達成度(ABCD) | 職員 | 保護者 | 児童 | 評議員 | 総合 |
|---------------------------------------------------------|------|-----------|----|-----|----|-----|----|
| 1 学校の授業は、わかる授業となっているか                                   |      |           |    |     |    |     |    |
| 1 一人一人が「わかる」授業になっている。(職員)                               |      |           |    |     |    |     |    |
| 学校の授業はわかる。(児童)                                          |      |           |    |     |    |     |    |
| 学校ではわかりやすい授業となるように工夫していると感じている。(保護者・学校評議員)              |      |           |    |     |    |     |    |
| 自分の子どもは、授業内容が理解できていると思う。(保護者)                           |      |           |    |     |    |     |    |
| 2 一人一人に基礎・基本が定着し、確かな学力が向上している。                          |      |           |    |     |    |     |    |
| 3 授業の中で学び方を身に付けさせたり、宿題や自主学習を奨励するなどにより、学習習慣が身に付いている。(職員) |      |           |    |     |    |     |    |
| 自分から手をあげて発言したり、意見を言ったり、質問したりしている。(児童)                   |      |           |    |     |    |     |    |
| 集中して授業を受けられるように、授業態度をきちんとしている。(児童)                      |      |           |    |     |    |     |    |
| 総合判定                                                    |      |           |    |     |    |     |    |
| 共通視点での具体的な数値項目のまとめ                                      |      |           |    |     |    |     |    |
| ＜内部評価(職員)の自由記述＞                                         |      |           |    |     |    |     |    |
| ＜外部評価(保護者・児童・学校評議員等)の自由記述＞                              |      |           |    |     |    |     |    |

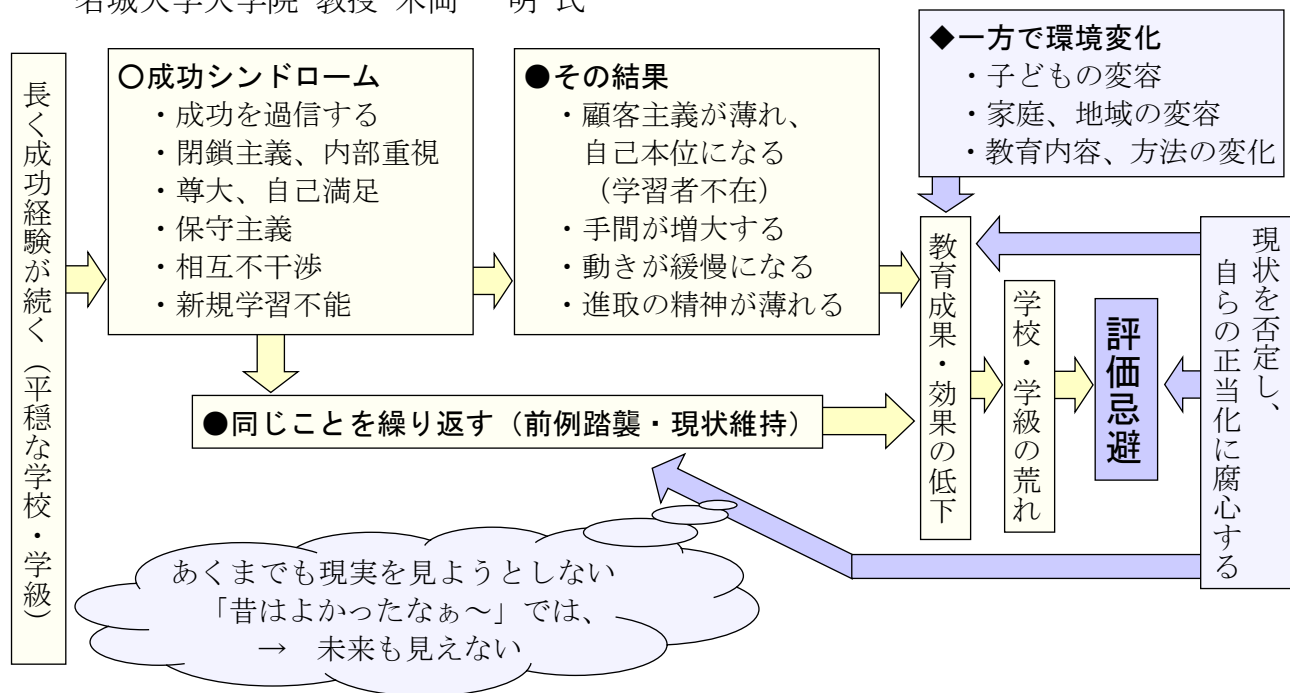
は総合的な達成度の判定であり、ABCDで記述する。

## 学校関係者評価についての基礎知識 ④

### 6 なぜ学校評価が必要か⇒地域が学校を元気にし、元気な学校が地域を活性化する！

#### Why? なぜ、学校評価は定着してこなかったのか - 学校・教員独特の歴史

名城大学大学院 教授 木岡 一明 氏



#### 学校評価を成功させるポイント ～ 学校評価をみんなのものにするには ～

京都市教育委員会 首席指導主事 北尾 恵丈 氏

##### ポイント1【よりよい学校づくりと学校評価】

- ① 学校評価をみんなのものにする  
→ 一人一人が評価者の視点を持つ。当事者意識を持つ。評価と実践をつなぐ。  
⇒ 年間の通した評価活動の実施。日常的な学校教育活動への参画。
- ② 学校の魅力を発見し、発信する  
→ 課題発見・魅力発見型の新しいアンケート手法の活用。  
⇒ 学校の魅力が見える評価の工夫。よさの共有、魅力の共有。学校の魅力の積極的な発信。）
- ③ 自らを振り返り、互いに高め合う  
→ 学校、保護者、地域、児童生徒、それぞれの立場から自らの役割、関わりを振り返る。  
⇒ 足りないところを補い合い、高め合う双方向の関係。

##### ポイント2【地域ぐるみで進める学校評価】

- ① 地域の子どもは地域で育てる
- ② 目指す子ども像、目指す学校像の共有
- ③ 目標の共有から行動・実践の共有へ
- ④ 評価をつなぐ  
→ 地域や子どもの実態を踏まえた共通評価項目の設定

みんなとは、

- ・教職員みんなのものに
- ・子どもたちみんなのものに
- ・保護者みんなのものに
- ・地域住民みんなのものに